



TITLE:

読・書・考

AUTHOR(S):

平井, 俊彦

CITATION:

平井, 俊彦. 読・書・考. 静脩 1981, 18(1): 1-2

ISSUE DATE:

1981-05

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/36888>

RIGHT:



静脩

1981年5月

The Kyoto University Library Bulletin

Vol. 18, No. 1

読 ・ 書 ・ 考

経済学部教授 平 井 俊 彦

私が京都大学に入学したのは、昭和二十年のことだから、今年で三十六年もの間、この大学のお世話になっている。私は自分の仲間に比べて、それほど蔵書が多い部類に入っているとは思わない。それでも、学生時代から主に文献だけを頼りに研究にたずさわってきたこともあって、ぼつぼつ買い集めた書物の冊数だけは、かなりの量にのぼる。せっかく、本を整理したいと思って書斎を作ってはみたものの、いつの間にか、本棚には入り切らずに、床の上や廊下に、文字通り「積んどく」ことになる。整理がつかぬから、同じ本を二重に買ってくることも間々ある。ときどき、不要なものを処分して新陳代謝を試みればと思いつながら、処分する段となると、なかなか思い切りがつかない。女房も掃除の邪魔になるといってよく小言をいっていたが、最近はどうにもならないと諦めてしまったようだ。

時代とともに、書物の数も増加する。読みたい書物は、自分の専門領域に関する書物だけに限らない。そのなかには、古典もあれば、現在のトピックになっているものもあり、巾はかなり広い。それに、『エミール』の指摘をまつまでもなく、人生はあまりにも短い。限りある時間のなかで、無限に近い書物を読むわけにはいかない。自分の専門領域にかぎっても、かなりの量にのぼる。もちろん、その読み方には、ほぼどんなことが書い

てあるか見当をつけるだけでよいものもあれば、一字一句ゆるがせにできない書物もある。

対象や関心によって、読書には、速読と熟読があるのは当然である。

毎年、みずず書房から年末になると「読書アンケート」が来る。できるだけ答えることにしているが、その年に読んだもののうち五冊をあげよという問いにも、かなり考えさせられる。その中でも、忘れていくものもあれば、いつまでも心に残ってはなれぬものもある。書物とは、人生における先達や友との出会いなのだろうか。読み捨てばやりの時代なのだが、苦勞して読んだ書物でなければ、身につくものではない。近ごろ、ゼミに入ってくる学生に、教養部時代に感激した書物をあげてほしいと質問すると、まともに答えられる人が少ないのは淋しい。ことに、青年時代には、骨のある書物をじっくり、読みこなす修練をつけたいものである。学生時代、出口先生のゼミナールでウェーバーの「社会科学的認識の客観性」の論文をドイツ語で読んでもらったのだが、一つ一つ問題を検討するので、ときには、三時間でわずかに一ページしか読めなかったことが、思い出される。すでに、この時から三十年以上たった今日でも、読み返してみると、何が問題だったかが、鮮かによみがえるのである。

たしか、西田幾多郎先生の言葉だったと思うが

「読み、書き、考える」というのがある。読書の極意を伝えていて、味わい深い。問題意識なしに、読むのは、単に活字をひろっているだけのことである。読書とは、著者との対話である。一つ一つ問題を考えながら読まなければ、著者の真意を汲みとれないし、自分の思考を錬えることができない。また、注意をひくためには、書くことが重要である。そのつど、自分の考え方をまとめておくことは、読書力と思考力を養うのには欠かせない条件である。急がば、廻れである。読書だけは、省エネであってはならない。どんな書物で

も、というわけにはいかないが、まともに取り組もうとするばあいには、「読・書・考」は守るべき鉄則であろう。論文を書くときには、当然のことだが、時間や雑用に追われる今日、それ以外の書物となると、なかなかこうはいかない。せめて、ときたま出会ういい書物を読むばあいには、こうした鉄則をふみはずさぬよう努めたいと、考えている。限りのある人生である。よい人とともに、よい書物との出会いは、大切にしたいものである。

——解説・コンピュータによる情報検索——②

JOIS (JICST オンライン情報システム) について

薬学部図書掛長 益 田 義 孝

1. 昭和32年に設立された JICST は科学技術政策の中枢部を自認する特殊法人である。昭和51年に特定回線、53年から公衆通信回線網を使うオンラインによる情報サービス JOIS-I を開始している。また56年4月から JOIS-II に移行し、さらにシステムアップしている。検索対象ファイルも表1,2に示す如く、かなり充実している。近く BIOSIS (生物学), CAB (農学) を入れる予

定であるが、さらに CANCERLIT (がん), INSPEC (物理・電気) 等のデータベースも追加計画があるので、これからの JOIS-II の発展が期待される。ここでは公衆通信回線を通じて、JOIS を使用する際の最小限必要と思われる事を記してみる。

2. 各種のデータベースを理解する上で、是非とも必要な事は自然語と統制キーワードの相違を

知っておく事でしょう。自然語とは文献中に表われる通常の用語であり、統制キーワードとは特定のシソーラスによって規定され、索引作成上あるいは文献検索上で使用を許された用語です。主として自然語による検索の利点を生かしたものに、CASEARCHがあり、統制語キーワードによる検索方式を主としているものに MEDLINE, JICST がある。後者の場合は MeSH (医学用語を規制する語い集) 等で強力にコントロールされた索引誌 Index Medicus 等が原資料なので専門のサーチャーによ

第1表 JOISデータベース一覧表

	データベース名	収録期間	備 考
文 献 フ ァ イ ル	JICST 科学技術 文献ファイル	1975年4月～現在	JICST 発行の「科学 技術文献速報」に対応。
	CA SEARCH化学 文献ファイル	1977年1月～現在	米国 CAS 発行の 「Chem. Abst.」に対応。
	MEDLINE 医学 文献ファイル	1976年1月～現在	米国国立医学図書館 発行の「Index Medi- cus」に対応。
	TOXLINE 毒性 文献ファイル	1977年1月～現在	Chem. Abst., Index Medicus など 8種に対応。
研 究 情 報 フ ァ イ ル	JICST 科学技術 研究情報ファイル	1976年 ～現在	日本国内の公共試験 研究機関約 540機関 の研究テーマ
	SSIE 研究情報ファイル	1980年～	米国内の約 1,300機 関の進行中、計画中 の研究テーマ

第2表 JOIS検索補助用
データベース

データベース名
JICST 科学技術用語 シソーラスファイル
JICST 資料所蔵 目録ファイル
CAS 化合物ファイル
CHEMLINE 化合物ファイル
MeSH 医学用語ファイル